

令和7年度

第1回在宅医療・介護連携推進協議会

会議概要(要旨記載)

日時:令和7年6月11日(水)午後1時30分～

会場:健康福祉センター 3階 特別会議室

1 委員

小 野 宏 志 （ 浜名医師会 坂の上ファミリークリニック ）
牛 田 知 宏 （ 湖西市医会 牛田クリニック ）
山 村 孝 夫 （ 浜名歯科医師会 山村歯科医院 ）
塩 野 州 平 （ 浜松市薬剤師会 古見薬局 ）
内 山 大 輔 （ 浜名病院 ）
野 中 寛 奈 （ 浜名病院連携室 ）
夏 目 志津子 （ 市立湖西病院在宅支援室 ）
田 中 結 子 （ R.Y訪問看護ステーション ）
内 藤 加代子 （ 地域包括支援センター湖西白萩 ）
浅 井 恵 子 （ ケアプランセンター陽菜 ）
黒 木 昌 子 （ 社会福祉協議会 ） 欠席
河 合 みづほ （ 一円荘 ）
松 下 拓 未 （ ひなたぼっこ ）
山 下 いづみ （ 坂の上ファミリークリニック湖西 ）

<事務局>

竹 内 通 晃 （ 健康福祉部高齢者福祉課長 ）
白 井 信 行 （ 健康福祉部高齢者福祉課長代理兼政策係係長 ）
吉 野 沙 織 （ 健康福祉部高齢者福祉課保健師 ）
松 井 美智子 （ 在宅医療・介護連携支援センター相談員 ）
岡 部 考 伸 （ 健康福祉部健康増進課長 ）
伊 藤 左和子 （ 健康福祉部健康増進課健康政策係長 ）

2 会議次第

1. 開会 挨拶

- ・委嘱状の交付
- ・会長・副会長の選任

2. 議事

- (1) 令和7年度在宅医療・介護連携推進事業実施内容について . . . 資料1
 - (2) 令和6年度連携支援センター縁 活動報告について . . . 資料2
 - (3) 多職種研修会について . . . 資料3
 - (4) 連携体制の検討について . . . 資料4
- 「現状分析及び達成される目標と強み・弱み」について

3 連絡事項等

次回の会議日程 令和7年10月8日（水）予定

会議内容

開始 14 時 00 分から

1 開会 挨拶

課長代理) 本日は、ご多用のところ、湖西市在宅医療・介護連携推進協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただいまから、湖西市在宅医療・介護連携推進協議会を開会いたします。私が本日、司会を務めさせていただきます。よろしくお願いします。

最初に資料の確認です。事前に資料を配付させていただきましたが、皆様ご持参いただいておりますでしょうか。事務局にて予備の資料をご用意してございますので必要な方はお申し出ください。

では、はじめに高齢者福祉課長よりご挨拶申し上げます。欠席者紹介。

課長) お忙しい中、協議会にご出席いただきありがとうございます。また平素より在宅医療と介護の連携推進にご尽力いただき感謝しています。高齢化が進む中、在宅医療と介護の連携強化はますます重要なものとなっています。地域包括ケアシステムの深化を進めていく上でも皆様の協力は欠かすことが出来ません。本協議会で現状と課題を共有し今後の方向性を見つけ、具体的な方法を議論していければと思います。住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指して積極的な意見がいただければと思っています。

・委嘱状の交付

課長代理) 続きまして、委嘱状の交付でございます。

委嘱状につきましては、各委員のお手元に配付させていただいております。本来であれば、お一人おひとりにお渡しをさせていただくものではございますが、時間の都合上割愛させていただきます。

任期は令和7年6月1日から令和9年5月31日までの2年間です。

続きまして委員自己紹介です。委員の皆様の名簿を机上に配付させていただいておりますので、名簿の上から順に所属と氏名をおっしゃっていただきたいと思います。それでは、よろしくお願いします。

~~~~~自己紹介~~~~~

### ・会長・副会長専任

課長代理) ありがとうございます。

引き続き、会長・副会長の選任に移らせていただきます。

湖西市在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱第4条によりまして、この会に会長・副会長を置く規定となっており、委員の互選により定めることとなっております。

つきましては、会長・副会長の選任につきまして、どのような方法にいたしましょうか？

委員) 事務局 一任。

|                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2 議事</p> <p>1) 「令和 7 年度在宅医療・介護連携推進事業実施内容について」</p> | <p>課長代理) 只今、「事務局 一任」という声をいただきましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>委員一同) 異議なし。</p> <p>課長代理) それでは、事務局から指名をさせていただきたいと思います。会長に「浜名医師会 小野様」、副会長は、「浜名歯科医師会 山村様」にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>委員一同) 同意。</p> <p>課長代理) これからの進行を会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>会 長) 浜松市と湖西市は連携に欠かせないと考えています。皆様方のご協力を得まして、会を進行してまいりたいと思いますので宜しくお願いします。</p> <p>副会長) 地域に根差している多職種と連携し、歩調をあわせながら地域で在宅医療・介護連携の構築ができるようにと考えています。宜しくお願いします。</p> <p>会 長) それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>議事(1)の「令和 7 年度在宅医療・介護連携推進事業実施内容について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 資料 1)</p> <p>まず初めに、在宅医療・介護連携推進事業の概要について簡単に説明します。この事業は、地域における医療と介護の連携体制を強化し、高齢者が安心して自宅で療養生活できるよう支援することを目的としています。概要図にあるように現状分析・課題抽出・施策立案、対応策の実施、評価、改善を繰り返しながら、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を目指していきたいと思っています。厚生労働省が作成している在宅医療・介護連携推進事業の手引きの最新版を資料として配布させていただきますので、ご参考にしていただければと思います。</p> <p>2 ページ目以降は湖西市の取り組み状況で、☆印は医師会へ委託している項目になります。赤字で記載してある箇所が、昨年からの変更した点になっています。昨年度までの取り組みについて抜粋して説明さ</p> |
|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

せていただきます。

ア) 地域の医療・介護の資源の把握についてです

・民間に委託し、更新している高齢者マップは医療機関・歯科医院・薬局・地域包括・地域の通いの場をマップ化し、(ここに URL を載せています。) 専門職向けに作成していますが、湖西市の WEB サイトに掲載してありますのでどなたでもご覧になることが出来ます。

・医療機関と介護事業所間等での迅速かつ正確な情報共有を実現し、連携の効率化を図る目的で、情報共有ツール「シズケアかけはし」を導入しています。市内の医療機関や介護事業所が参加し、現在 33 機関が登録しています。浜名医師会が受託している地域づくり推進事業をもとに昨年度よりシズケアかけはし推進部会を新たに立ち上げ、会議、勉強会、説明会等の取り組みを実施しました。今後もさらなる活用促進と登録機関の拡大を進めていきます。

・在宅医療での連携に関係する内容の状況等の調査を毎年秋頃に実施し、データベースにまとめ、湖西市 WEB サイトにて公開しています。データベースに掲載する項目などのアンケート内容は協議会や両病院連絡会で検討し実施しています。また、同時に協議会メンバーで作成した連携に必要な情報を集めた湖西市連携お助けブックも更新しています。入院から退院支援・調整の流れをまとめた「湖西市退院調整ルール」や各種連携シート・情報共有シートを集約し公開しています。PDF とそのまま編集できる形式でも載せていますので是非ご活用ください。

更に市内の社会資源情報をまとめたものも掲載しています。在宅福祉のサービスや自費サービス、公共交通機関の情報や介護タクシー、など在宅での生活に役立つ情報を集約しています。新たに、このような情報があったらいいなどありましたら度意見いただけたらと思います。

イ)在宅医療・介護連携推進事業の課題の抽出では当協議会にて在宅医療と介護の連携が重要となる、①日常の療養支援 ②入退院支援 ③急変時の対応 ④看取り の 4 つの場面を整理し、湖西市の各場面の目指すべき姿、現状、現状分析、課題抽出、具体的施策、アウトカムを順に整理して検討しています。協議会での検討内容につきましても概要をまとめ掲載しています。

ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進では、医療・介護の質を高めるために不可欠な要素です。患者の意向を尊重し、医療と介護が連携して最適なケアを提供するためには、専門職一人一人が積極的に ACP に関与し、実践していくことが求められます。ACP 啓発・推進のための取り組みについて令和 5 年度からは ACP 部会を立ち上げ定期的に検討会を実施しています。ACP についてわかりやすく記載し、身近に触れられるようにということを目的に浜松市の手帳を

参考にさせていただきました。「エンディングノート」からより本人が重きをおいている価値観や、終末期の医療的な選択を考えるきっかけとなる内容も盛り込んだ「人生会議手帳」に変更しました。関係者の方や市民の反応も良く、例年よりも早いペースで配布が進んでいます。こちらでも毎年、見直しを行いながらより使いやすいものに加筆修正していきたいと考えています。(WEBサイトに掲載) また、ACP 部会では今後はこの「人生会議手帳」を活用できるように専門職向けの活用マニュアルを作成し、勉強会等を開催できるように進めていければと考えています。

カ)の医療・介護関係者の研修職向け研修では医療と介護の現場での連携を強化し実務能力の向上を図ることを目的として、医療従事者と介護従事者を対象にした研修を年 2 回以上実施しています。研修会でも ACP の内容についての実践に関する研修が参加者にも好評で、今後も継続していく予定です。今年度の研修会、市民向け講演会の計画については後の議事にて説明させていただきます。

以上が、現在進行中の主な事業の進捗報告です。これらの取り組みが、今後の在宅医療・介護連携を強化し、市民の皆様が安心して暮らせる地域づくりに繋がることを目指して、さらに取り組んでいきたいと考えています。今後も引き続き、皆様のご支援とご協力をお願いします。何かご質問やご意見がございましたらお願いします。

会 長) 事務局の説明は終わりました。ご意見、ご質問のある方はいらっしゃいますか。

色々な事業所の方への周知はどうなっているか。

事務局) 色々な場面で周知はしているがまだまだ不足を感じている。

委員) 周知をさらにしていくにはどうしたらいいのか。

事務局) 活用が病院やケアマネジャーが多いと思うので、病院連絡会・居宅連絡会などで啓発。皆さまからの希望があれば出向いていきたいと思っている。

会長) 24 時間対応の訪問看護や介護の事業所があるので薬局対応もあると思う。

委員) 基本的には 24 時間対応で、オンコール対応しているところもある。データベース A (薬局) にも時間外対応可及び応相談の場合の連絡先の項目があり、各薬局における対応が記載されている。

2)「令和6年度連携支援センター縁 活動報告について」

委員) 特別な場合を除き、夜間に対応しなくても済むよう医師も調整していただけていると思う。

会 長) 続きまして、議事(2)「令和6年度連携支援センター縁 活動報告について」に移ります。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 資料2)

連携支援センターR6年度活動報告をご覧ください。

専門職からの相談件数の内訳につきましては、グラフのとおりです。また縁たよりの購読状況アンケート及び縁たより及びお助けブック活用状況についてのアンケートの2回目を、令和6年10月に実施させていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

“縁”たよりの発行につきましては、まずは、専門職の皆様に興味をもってみていただける、又参考にしていただけるよう、改訂、題材の選択をしてきました。

しかし、まだまだ啓発不足を感じている次第です。

お助けブックについても作成から7年が経過し皆様の協力を得ながら毎年改訂してきました。利用している職種がいる一方で、存在すら知らない職種もいることが、アンケートで分かり残念で力不足を感じています。連携に必要な情報やルールが掲載されていますので活用していただけるよう更なる啓発が必要だと思いました。多職種の方々と連携することで、地域における医療と介護の連携体制を強化し、高齢者が安心して自宅で療養生活ができるよう支援していくための一助となれば良いと思っています。

会 長) 事務局の説明は終わりました。ご意見、ご質問などをお受したいと思います。

事務局) 縁たよりも過去のものからWEBサイトに掲載していますのでご覧ください。皆さんに読んでいただける内容選択を心掛けている。

会長) 在宅医療関連の相談ではどのような内容がありますか。

事務局) 訪問診療をしている事業所を教えてくださいという内容が多かった。

会長) 連携支援センターの相談員は専属か。

3)「多職種研修会について」

事務局) 高齢者福祉課内にて非常勤として所属している。

会長) 事務所からでかけることもあるか。

事務局) シズケア＊かけはしに関する対応などででかけることもあった。

会 長) 続きまして、議事 (3)「他職種研修会について」に移ります。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 資料 3) 今年度の多職種研修では、地域の医療・介護関係者が互いの業務の現状や専門性、役割について理解を深め、率直な意見交換ができる信頼関係を築くことを目指します。これにより、現場レベルでの在宅医療と介護の連携が一層強化され、より効果的な支援体制が実現できるような研修を企画していきたいと考えております。

第 1 回の多職種研修についてです。昨年度の協議会内で感染拡大時における在宅生活の継続が課題にあがりその対策として介護等の関係施設での平時等を含め感染対策の研修を実施してはどうかとの意見をいただいたので企画しました。講師には市立湖西病院の感染認定看護師の平野看護師をお迎えし、「感染症予防から対応、実務に役立つ知識とスキルを学ぶ」をテーマに実施予定です。

第 2 回の多職種研修では、昨年度から引き続き ACP の重要性と実践にむけての理解を深める研修を企画しました。講師に関しては ACP 部会にて意見をいただき、ACP 分野において先駆的に尽力をされ、患者さんやご家族の意思決定支援を行っている聖隷三方原病院 森 雅紀医師に講演を依頼しています。まずは、広く多職種に ACP の理解が広まるようオンライン配信の併用ができるように講師と調整していきたいと考えています。

現在、決定している詳細は資料の通りです。

裏面をご覧ください。市民向けの啓発では、地域住民や医療・介護関係者の理解を深め、在宅での最期を迎えるための支援体制構築を目的に実施します。市民が住み慣れた家で最期まで過ごせる社会の推進を目指して訪問看護ステーションはまなの訪問看護認定看護師の前田所長より、訪問看護が支える在宅医療をテーマに講演いただく予定です。併せて、人生会議手帳についても案内していきたいと考えています。以上です。

会 長) 事務局の説明は終わりました。全体でご意見、ご質問のある方はいらっしゃいますか。研修会の内容は前年度位より企画してい

るのか。

事務局) 昨年度の協議会などで課題に挙げた内容等を加味しすすめさせてもらっています。

委員) 感染対策の研修会は、オンライン研修ではないのか。

事務局) 講師と内容を打ち合わせしたところ、実践的なものであったため、オンライン研修は考えていない。

会長) 高齢者施設においては感染対策については特に大切な内容となるため多くの介護職等に参加してもらえると良いですね。今の空きはいかがか。

事務局) 現在の申し込み状況は 20 名程度であるので、引き続き周知していただきたい。

委員) (研修の内容に) あまり興味や関心をもたれないのか。

委員) 周知はするが業務外の時間はこちらからの参加呼びかけは難しい。

介護事業所は職員数が少ないが、時間内・オンライン研修のほうハードルは低い。

委員) 施設によっては、時間内は業務内容的に調整できない。

委員) 時間帯についても色々考える必要がある。

委員) 申込がQRコードとなってから、事業所の参加人数の確認ができないので呼びかけしにくい。参加状況をフィードバックしていただきたい。

会長) 自己研鑽か勤務かは難しい。

委員) 事業所の対応の方法で参加しやすいかも決まる。

委員) 昼の部または夜の部など色々なパターンの研修会も考えていく必要もありかもしれない。

4)「連携体制の検討、現状分析及び達成される目標と強み・弱み」について」

会長) 認定看護師なら看護協会からの派遣 県が病院協会に派遣依頼

委員) 市内は依頼があれば派遣している。

会 長) 続きまして、議事(4)「連携体制の検討、現状分析及び達成される目標と強み・弱み」に移ります。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 資料 4) 資料4-1に湖西市の在宅医療・介護の目指すべき姿を「湖西であんきに暮ら住まい」とかけ、「現状分析及び達成される目標」と「強み・弱み」を整理しまとめております。今回更新した情報については赤字で掲載しております。2. 在宅医療の提供されるサービスの量、取り組みの量に関しましては資料4の最後の資料のデータベースアンケート調査の集計値を参考としたいと思います。

資料4-2をご覧ください。達成される目標に対する推移をまとめています。最新の認定者数は2,427人。介護認定率については湖西のみをみると昨年の13.6%より1%増加し14.6%になっています。高齢化率と比較して推移をみてみますと、国は19.7%、県は17.3%で推移し、高齢化率に比例し、国、県、市ともに緩やかな増加にとどめている現状といえます。

在宅医療に取り組む機関数は2024年が最新情報になります。市内での在宅医療に取り組む医療機関では、医師や専門職の高齢化などの理由により対応医療機関が減少している部分もありますが、訪問診療専門の診療所が新規に参入。訪問診療に力を入れている歯科医院もあります。

シズケア加入数につきましては、緩やかではありますが増加しており、今後もICTを活用した連携体制の構築を進めていきたいと考えております。

現状をこのように整理してみましたが、実際の現場でのご意見やご質問等がありましたらお願いします。

会 長) 事務局の説明は終わりました。沢山のデータがでてきていますが、全体でご意見、ご質問のある方はいますか。

会長) 浜松市は訪問看護ステーション事業所の増加が急激で100ヶ所所となりそうな勢い。

委員) 高齢者施設ができることで、訪問看護ステーションも併設される構造もあるか。

事務局) 湖西でのひっ迫具合はいかがか。

委員) 訪問診療専門の事業所が参入してから、在宅で最期までと思う在宅看取りが増えている。当事業所は、S Tの入職もありリハビリについて脳疾患に対する対応もできるようになってきた。

会長) 訪問介護の供給はいかがか。

事務局) 夜間対応できるのは1事業所となっている。

委員) デイサービスの送り出しなどはサービス時間帯が重なるため、断られることもあり。

会長) 高齢化率に比べ要介護認定率が低いのか。

委員) 湖西市は国や県が求めている審査を実施し、問題なく運営されていることが証明されている。介護度は上がれば良いというものではなく、利用料も上がるのでサービス利用に躊躇する人も多い。認定審査会委員も何とかしてあげたいという気持ちでやっている。基準時間が1〜2分くらいの開きなら特記事項から拾うことも可能だが、10分も開いる場合など理由が見いだせないのに上げることが正しいとは思っていない。

事務局) 令和3年度、厚生労働省からも湖西市の認定は適正であるとお墨付きをいただいている。

事務局) 申請から調査までにかかる時間はスタッフを増員するなど対応し、早くなっている。

委員) 湖西市の主治医意見書は本人家族が直接医師に依頼する方法なので意見書が事務局に提出されるまでの時間がかかってしまう。ただ、依頼時に診察や問診など状況を確認しながら意見書が書けるということは利点である。

会長) 資料より、自宅で最期を迎えたいと考えている人がどれくらいいて、現在の在宅死亡率がどれくらいという数値が出ている。その差を埋めていくと考えていくのか。今後、その内容について議論を深めていければいいのでないか。

|                 |                                                                                                                                                     |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>3. 連絡事項等</p> | <p>会長) それでは、以上で全ての議事を終了いたします。<br/>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、湖西市在宅医療・介護連携推進協議会を終了させていただきます。</p> <p>3 次回案内について<br/> 次回は10月8日(水)を予定しております。</p> |
|                 |                                                                                                                                                     |

